

平成29年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	平成29年度 第3回安曇野市図書館協議会
2	日 時	平成29年12月7日 午後1時30分から午後3時まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学习センター 多目的交流ホール
4	出席者	三澤会長、中村委員、山田委員、樋口委員、望月委員
5	市側出席者	丸山図書館交流課長兼中央図書館長、青柳豊科図書館長、遠藤三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、小笠原明科図書館長、細田課長補佐、奈良澤副主幹、沖副主幹
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1 人 記者 1 人
8	会議概要作成年月日	平成29年12月22日

○会議の概要

- 1 開会 (丸山課長)
- 2 あいさつ (三澤会長)
- 3 協議・説明
 - (1) 第2次安曇野市図書館基本計画策定について
 - (2) 平成30年度安曇野市図書館事業計画(案)について
 - (3) その他
- 4 その他
 - (1) 三郷交流学习センター愛称決定について
 - (2) その他

3 協議・説明概要

- (1) 第2次安曇野市図書館基本計画策定について

事務局 基本計画案の表紙に、「知と心がみたまされる図書館を目指して」という見出しがありますが、7月に開催した市民ワークショップでのご提言を採用しました。現段階では素案ということで、本日の協議終了後、案としていきたいと思っております。ご説明の前に今後の流れを説明します。前回、協議会でご協議いただきました検証と今後の方向性をもとに、事務局の素案をお示しします。今後は、本日ご協議いただいた結果を反映して、この12月議会の委員会協議会、全員協議会等でご説明した後、12月25日に予定しています12月教育委員会定例会でご協議いただき、12月26日から1月24日までの30日間、市のパブリックコメント実施要領に基づき、パブリックコメントに付していきたいと思っております。パブコメでいただいたご意見を、この案の中に反映させ、2月の予定ですが、この図書館協議会でご協議いただき、教育委員会で決定していくことを考えています。

それでは、事務局の素案ということで説明します。

計画の構成は、4章立ての章立てとし、第1章では計画策定の目的と背景、第2章では現在の公立図書館の現状と課題、第3章では基本理念、第4章では基本理念に基づく基本方針としました。最後に図書館の業務統計の主なもの、そして昨年度実施しました図書館アンケート、図書館に関するアンケート等の概要などを資料として添付しました。計画の背景として、ハード整備が概ね終了することから、第2次計画では、ソフト事業を中心とした計画にしていきたいと考えています。

計画の位置づけですが、体系図のように、市の最上位計画である総合計画の下にある教育大綱、また策定中の生涯学習推進計画、文化振興計画、これらの計画を補完するものであるという位置づけが1つ。もう一つは、図書館法に基づく、文科省独自の「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」で求められています図書館の基本的運営方針に当たるものというような形で位置づけています。

計画期間ですが、平成30年度から39年度までの10年間。ただし、毎年度、点検、検証しながら必要に応じて見直しをするというような期間とさせていただきます。

公立図書館の現状等ですが、市民・利用者・小中学生のアンケートや図書館についての業務統計をもとに、現状と課題をそれぞれ記述をしました。

第3章の基本理念ですが、多様化する市民の「学び」に応える図書館を目指す。また、「本と人、人と人の出会いの広場」となる図書館を目指すという2つを掲げました。図書館は学習センター、情報センター、文化センターとして、市の生涯学習の推進についての中核施設の役割を担うこと。また、本市の図書館の特徴として、5つの図書館が交流学習施設内に整備されることから、本市の特徴を生かした公立図書館の目指す姿というような形で掲げました。

続いて、第4章の基本方針です。基本理念を展開する施策として「市民への新鮮な資料や最新の情報の提供」「さまざまな『学び』の場としての図書館サービスの充実」「『地域の教育力』を高める活動の推進」「図書館に障がいのある方への障がいの除去」「本市の歴史と文化の継承」「市民の調査・研究の支援の強化」「計画の推進」の7つを掲げました。

向こう10年間にわたる計画ということで、網羅的ですが施設の整備後、市民に役立ち、必要とされる図書館の充実を図るための計画としました。よろしくお願いします。

議長 今の説明にご質問はありますか。

委員 文章内に「保育所」とありますが、この「保育園」という表記ではないか、また、幼稚園を入れなくてよいのか。基本理念の「本と人、人と人との出会いの広場」について、具体的にどういうことを目指しているのか。現在、堀金支所の敷地内に文書館がオープンする予定ですが、図書館との連携はあるのかどうか。

委員 私も同様に「人と人との出会い」について具体的にどのような展開を考えられているのか、お願いします。

事務局 幼稚園と入れます。それから「広場」という具体的なイメージですが、図書館というと個人の利用になっ

てしまいますが、個人で読書活動にとどまるのではなく、同じ人たちが集まってお話しする。何か同じことをしてみるというようなきっかけづくりの場として、図書館と交流学习センターを有効活用した施策をつくっていただければと思っています。個人と個人の学習じゃなくて、1（イチ）足す（+）1（イチ）が3（サン）となるような学習の成果を生み出す施策、こんなことを考えていきたいと思っています。文書館につきましては、図書館と連携し取り組んでいく必要があると考えています。古文書とのすみ分けは検討中です。

委員 「人と人の出会いの広場」について、これから具体化していくということですので、ワークショップ等にもそういった考え方、意見が出ていますので、そういったところを発展的にお願いできればと思います。

議長 文書館とのすみ分けですが、例えば古文書が全部文書館にあるのがよいのか、それぞれの地区、例えば三郷なら三郷に関係あるものは三郷図書館に所蔵するなど。それぞれの地区の図書館にあったほうがいいのか、またその辺も検討をして、使いやすいことを考えていただけたらと思います。

委員 個人貸出点数の推移がありますが、やはり図書館が新しく整備されたところ、中央図書館は平成21年開館の33万人に対し翌年度は55万人、明科図書館は平成18年、19年代がピークでその後ずっと利用者が落ちているように見えます。これらの要因を、今後どういった位置づけで考えられていくのかお聞きしたい。

明科図書館長 1つは他館が新しくなる前は明科が一番新しい図書館だったということで、たくさんの方が出かけて来ていただいたかと思います。また、明科における人口減というのが非常に大きいかと思います。しかし、人口割で見ると、堀金や三郷とも決して遜色なく、むしろ全体的には少し利用が多いのではとも見られます。

議長 ご意見ほかにございますかね。よろしいですか。なければ、第2次図書館基本計画の策定については終わります。続けて平成30年度安曇野市図書館事業計画（案）について移ります。

（2）平成30年度安曇野市図書館事業計画（案）について

議長 事務局より説明をお願いします。

中央図書館長 事業計画の推進事業ですが、30年度の主な取り組みですが、特に「レファレンスサービスの充実と職員の専門知識や新しい技術の習得」「図書館活動の周知」を図っていきたくと考えております。

実施事業ですけれども、全館事業から主な事業を説明します。

4カ月児を対象とした「ブックスタート事業」、図書館を多くの人に知っていただく機会として毎年9月に開催している「図書館フェスタ」、中信地区の図書館との連携事業「信州山の日共同企画展示」等を予定しています。

また、1月開館初日に行う「本のお年玉」は毎年好評で28年度は240セット貸し出ししました。「読書通帳」ですが、読書意欲を高めるために、継続して実施していきたいと思っています。「英語でお話会」ですが、学習指導要領の改訂に伴い、小学校から教科として英語が始まるということもあり、英語に親しめるようなものを開催していきたいと考えています。「読書会等の支援」や「配本業務」も引き続き行っていきたいと思っています。「レフ

ァレンスサービスの充実」や「図書館事業のPRの充実」として、情報発信をし、図書館の利用増加につなげていきたいと考えています。市内幼保小中高との連携ということで、「利用者カードの推進」「調べ学習図書購入等」「中学生のビブリオバトル」「ブックリストの作成」「職場体験学習」も引き続き行っていきたいと考えています。

続いて、主な中央図書館の事業です。定期的な「おはなし会」の開催、「講座」の一つとして、「としょかん塾」。これは児童の皆さんを対象に図書館の使い方を楽しみながら学んでいただきたいと考えています。また、「大人のための絵本講座」として、大人向けの絵本の楽しさを知ってもらうための講座を開催していきたいと考えています。安曇野ならではのビジネス支援として、農業の提案と安全な食農をテーマに開催する「おいしい安曇野塾」、毎月開催の「映画上映会」を予定しています。「研修会」ですが、読み聞かせボランティアの育成とスキルアップのための「読み聞かせボランティア育成研修」を開催します。

豊科図書館長 主な豊科図書館の事業ですが、「おはなし会」「講座・講演会」「読書会」「映画上映会」、本年度まで行っていた内容を来年度も実施する予定です。それぞれのおはなし会や講座、それから読書会等を充実させることが、「人と人との出会いの広場」という図書館につながっていくことを考えています。また、美術館や市役所が隣接していますので、美術関係資料を充実させたり、行政関係のレファレンスを充実させたりしていきます。また、熊井啓監督や山岳写真家の田淵行男さん、田淵さんにちなんだ山岳コーナーなどの関係資料なども充実していきます。当館では、そういった中身も充実させ学びに応える、そんなことを来年度は考えています。

三郷図書館長 三郷図書館は、12月から閉館し、3月10日の開館に向け移転準備をしています。

来年度の主な事業計画ですが、「おはなし会」ですが、乳幼児対象の毎月第3火曜日のおはなし会を新しい事業として取り入れました。「1周年記念」を来年3月に予定しています。「講座・講演会」ですが、全部で5回計画し「人物」「自然」「歴史」「文化」などをテーマに三郷にかかわった講座や「夏休みおたのしみ会」や「クラフト講座」も計画します。その他に「三郷文化産業展への展示」も引き続き行っていきたいと思ひます。

堀金図書館長 「おはなし会」は参加者が少なくなってきましたが、引き続き行ってきたいと思ひます。「わくわく講座」は職員も講師になりながら開催しています。「短編小説を読む会」は、松本方面から三郷、堀金、あるいは豊科、穂高と各方面から来て楽しんでいただひています。

明科図書館長 基本的には当館も昨年までの動きに重ねながら、新しいものを取り入れていくという形で進めていきます。当館は、児童館と学習館が併設している特色を活かしながらやっていきたいと思ひています。「おはなし会」は、全10回になっています。また、乳幼児を対象とした読み聞かせを児童館で行ってほしいと要望があり、そちらで読み聞かせを職員がやるというような形で進めています。「講座・講演会」も、基本的には今年の動きと同じになりますが、中身を少しずつ変えて計画しました。「映画上映会」は、今年並みに夏と冬に開催したいと思ひています。

議長 30年度の図書館事業計画（案）について、ご質問、ご意見はありますか。

委員 2点あります。1点は「ツイッターによる情報発信に努めたい」ということですが、だれが、どんな内容で、どの程度の頻度でツイートされるのかということについてです。1つのアイデアとして、せっかく本にいろいろな名言、格言、いろんなキャラクターの言葉などありますので、そういうのを登録したり、LINEの普及率が高く、最近ラインアットという仲間に入っていないなくても、登録してもらえると、その人のところにメルマガみたいに届く情報サービスを活用したりしたらどうかと思いました。

それから、読み聞かせについて、動画配信をしたらどうかと思います。ちょっと新しい試みとしてどうかと思いました。質問としては、SNSはどんな感じで具体的に考えられているのか、決まっていればぜひ教えてください。

事務局 市には、広報公聴規程がありまして、現在、市からの電子媒体の発信はホームページとツイッターだけです。これが現状ですが、いろんな方法が進んでいますので、研究したいと思っています。

委員 ツイッターも2分20秒まで動画配信が可能です。

事務局 しっかり調べたいと思います。本年度の図書館フェスタで試験的に1回ツイッターを上げてみました。今後、活用していきたいと思っています。

委員 平成30年度はワークショップの開催は。

事務局 開催したいと思っていますが、まだ具体的に計画以外はたっていません。この前みたいな形のワークショップがいいのかとか、お話会に来た人たちを誘ってワークショップをやるというふうな、いろんな方法が考えられると思います。

委員 アンケートとは違った視点の意見等も出てきますので、よろしくお願いします。

議長 状況を見ながら、事務局で検討してほしいと思います。

事務局 ぜひ、開催するときは委員の皆様にもご参加いただきたいと思います。

委員 幼保小中高の表記が「認定こども園」という名称にしたほうがよいのか検討をお願いします。また、今後、少子高齢化が進む中で、子どもたちや高齢者とのかかわりというものをもう少し出していったいいかなと思います。また、市の場合、図書館カフェをどのように考えているか、ちょっとお聞かせ願えればありがたいです。

事務局 子どもたちや高齢者とのかかわりですが、基本計画（案）では障がいの除去という中で考えていましたが、ちょっと表現が足りなかったです。図書館カフェについては、もう少し教えていただければと思います。

委員 テレビで拝見し「飲み食いしながら楽しく本を読みましょう」ということでした。そのあたりはいかがでしょうか。

事務局 みらいの施設にカフェあります。三郷にもできます。借りた本をそこで読んでいただくという形で、図書館の中では考えていません。図書館の中での飲食は、もう少し検討が必要かと思います。

委員 「ほかがやっているから」ということではありませんが、もう少し広く考えて、興味関心を持っていただくということ、本当に図書館が居場所になるという、そういう視点から考えたときに、これからはそういうことも必要かなと思います。

事務局 当面は図書館で本を借りていただき、飲食スペースでお願いしたいと思っています。

議長 ほかにはよろしいですか。

委員 公共図書館と学校図書館とのかかわりをより密にしていければと思います。また、学校図書館へ公共図書館の情報発信もさらにしていただければと思います。よろしくお願いします。

議長 ほかによろしいでしょうか。説明いただいた内容で進めてほしいと思います。それでは「その他」について事務局より「三郷交流学習センター愛称決定」について報告をお願いします。

事務局 三郷交流学習センターの愛称につきましては、7月に愛称の応募を募り、その内7件の愛称候補を選び、9月から市民の皆さんに投票をしていただきました。その結果、最多投票数を獲得した「ゆりのき」に決定させていただきました。

議長 この件について、何かありますか。この他に全体を通して無いようでしたら、平成29年度第3回図書館協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。